

科目名	情報活用概論（卒業必修）		
授業形態	講義	学年	1
開講時期	2023年度 前期	単位数	2
担当教員	中澤 真		
内容および計画	<p>インターネットの普及によりコンピュータは単なる情報を処理するだけの機械から、情報の収集・伝達という役割も果たすようになり、現在では社会システムの中で不可欠な存在となった。このようにコンピュータは多くの機能を持つ道具であるが、その操作方法のみを学んだのでは意味がない。仕事場あるいは家庭でこの道具を有効に活用するためには、その裏側にある基本的なしくみや考え方を理解することが大事なのである。本講義ではここに力を入れたいと思う。</p> <p>講義の進め方としては、実際にコンピュータを使いながら情報の収集・整理・分析・構成、Webによる情報発信、ネットワークコミュニケーションなど幅広い領域を学んでもらう。さらに、AI、ビッグデータ、IoT、データサイエンスに関する最新の話題についても適宜紹介するので、情報技術への興味・関心を高めてもらいたい。</p> <p>なお、コロナの感染状況に左右されるが、必要に応じてグループ課題やグループディスカッションにも取り組んでもらう。</p> <p>【キーワード】 デジタル情報管理, メディアリテラシー, 情報収集, 情報分析, レポート作成, プレゼンテーション</p>		
1	<p>【ノートテイキングと学び】</p> <p>授業のオリエンテーションとして、講義の進め方や講義支援システムの活用方法について理解する。さらに情報活用の第一歩であるノートテイキングの重要性や具体的な方法についても理解し、大学での学びへと役立てるスキルを修得する。</p>		
2	<p>【デジタル時代の情報管理術】</p> <p>スケジュール、ToDo リストなどによる情報管理の必要性を理解し、これらをデジタルツールとアナログツールで管理した場合の特性や具体的手段について学ぶ。これらを自分のライフスタイルや利用場面に応じて使い分けられるスキルを修得する。</p>		
3	<p>【情報端末の基礎】</p> <p>誰もが使う PC やスマートフォンなどの情報端末について、ハードウェア的な視点でその特性を把握し、カタログに記載されている性能表からそれぞれの情報端末の違いを正確に読み取るための知識を身につける。また、カタログに登場する各種情報単位についても学ぶ。</p>		
4	<p>【メディアリテラシーとクリティカルシンキング】</p> <p>ネット上に溢れるフェイクニュースやデマに騙されず、またメディアによる情報の偏りを見極めて情報を適切に取捨選択するための考え方を学ぶ。特に、クリティカルシンキングで情報の真贋を見極めるために、事例や練習問題などを用いて実践的に取り組む。</p>		
5	<p>【高効率・高精度な情報収集】</p> <p>図書館からインターネットまで、多様な情報源を効果的に活用するための方法を学ぶ。紙媒体では新書や白書の活用法、オンラインでは検索サイトの各種機能を用いた高効率・高精度な情報収集の方法についても学ぶ。さらに、検索サイト以外の情報収集サービス・ツールについても紹介する。</p>		
6	<p>【クラウド時代のファイル管理】</p> <p>PC でもスマートフォンでも必要になるファイル・データの管理方法について、クラウドストレージなども活用しながらファイルの迷子や消失を防ぐための手段を学ぶ。また、個人での利用だけでなく組織で扱うデータの管理方法についても理解する。</p>		
7	<p>【情報の分析（1）】</p> <p>収集した情報をコンピュータを使って整理、分析、可視化する手段として、Excel での表作成や計算処理のための関数や参照方法について学ぶ。</p>		
8	<p>【情報の分析（2）】</p> <p>データの可視化のために適切なグラフの選択と、効果的な表現方法について Excel の操作を交えながら学ぶ。また、分析においてデータの前処理や構造化が重要であることを理解し、その手段についても学ぶ。</p>		
9	<p>【論理的な情報の構成】</p> <p>レポート作成に必要な論理的な文章構成力を身につけるために、パラグラフライティングやレポートの基本構成について学び、思考ツールや校正ツールなどを用いた効率的な作成方法について体験する。</p>		
10	<p>【視覚的な情報表現と作業の効率化】</p> <p>自分の考えが的確に伝わるレポートを作成できるようにするために、Word を用いた視覚的な情報表現方法を学ぶ。また、Word は誰もが手軽に使えるため、力技で編集作業をしてしまう人も多い。そこで、このよ</p>		

	うな作業から脱却するための方法についても学ぶ。
11	【情報化社会における知的財産権】 レポートの剽窃だけでなく、SNS などインターネット上でも他人の著作物を無断で利用する例が後を絶たない。自分が加害者・被害者にならないために著作権を含む知的財産権の基本を学び、さらにこれを守るための著作権管理技術や、特許ビジネスについても理解する。
12	【プレゼンテーションのための情報可視化術】 レポートと異なり、短い時間で情報を相手に伝達する必要があるプレゼンテーションでは、情報の可視化が重要になる。そこで、この回では Powerpoint を使って、様々な文章を図解表現としてまとめる方法について学ぶ。
13	【プレゼンテーション技法】 プレゼンテーションでは資料の図解表現だけでなく、その構成や実際に口頭でどのような内容を話すか、またその時の態度も重要となる。そこで、この回ではプレゼンテーション実施時のコミュニケーション技法について学ぶ。
14	【プレゼンテーションの実践1】 プレゼンテーションは実際に人前で行う体験が重要であるため、作成したスライド資料に基づきグループ内でのプレゼンテーションを体験する。また、発表者としてだけでなく、聞き手役や司会者役の重要性についても理解する。
15	【プレゼンテーションの実践2】 プレゼンテーションは実際に人前で行う体験が重要であるため、作成したスライド資料に基づきグループ内でのプレゼンテーションを体験する。また、発表者としてだけでなく、聞き手役や司会者役の重要性についても理解する。

#### 教科書

タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
『考える 伝える 分かちあう 情報活用力』 第4版	noa 出版	noa 出版	9784908434259	2017

指定した参考書以外に、本学図書館、コンピュータセンター所蔵の各種白書を用いた取り組みも実施する。知の泉である図書館の活用方法も身につけてほしい。

<b>参考書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[1] 原尻淳一, アイデアを形にして伝える技術, 講談社現代新書, 2011</li> <li>[2] 近田政博, 学びのティップス大学で鍛える思考法, 玉川大学出版部, 2009</li> <li>[3] 田中研之輔, 先生は教えてくれない大学のトリセツ, 筑摩書房, 2017</li> <li>[4] キャロル・ヴォーダマン, イラストで学ぶスタディスキル図鑑, 創元社, 2017</li> <li>[5] 長谷川一ほか, 大学生のためのメディアリテラシートレーニング, 三省堂, 2015</li> <li>[6] 板坂元, 考える技術・書く技術, 講談社, 1973</li> <li>[7] 下村健一, 10代からの情報キャッチボール入門, 岩波書店, 2015</li> <li>[8] 福井健策ほか, インターネットビジネスの著作権とルール(第2版), 著作権情報センター, 2020</li> <li>[9] 四禮静子, スペースキーで見た目を整えるのはやめなさい, 技術評論社, 2020</li> <li>[10] 宮野公樹, 学生・研究者のための使える PowerPoint スライドデザイン, 化学同人, 2009</li> <li>[11] 森重湧太, 見やすい資料のデザイン入門, インプレス, 2016</li> <li>[12] 野村直之, 人工知能が変える仕事の未来&lt;新版&gt;, 日本経済新聞出版, 2020</li> <li>[13] 上野千鶴子, 情報生産者になる, ちくま新書, 2018</li> <li>[14] 中山真敬, パソコン仕事術の教科書, 技術評論社, 2017</li> </ul>
------------	---

#### 成績評価

評価方法	割合(%)
ミニッツペーパー	10
レポート	25
プレゼンテーション資料	20

その他の小課題	30
小テスト	15
<b>学習到達目標</b>	在学中の2年間だけでなく社会に出てからも要求される、コンピュータやネットワークを用いて情報を収集・分析・構成・伝達する情報・メディアリテラシー力を身に付ける。
<b>先修条件</b>	
<b>実務経験</b>	
<b>その他</b>	授業回数や進捗によって授業計画を変更する場合がある。